

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	ビジネス基礎	2単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 ビジネス系列			
取得資格	全商ビジネス計算実務検定3級			
学習のアドバイス	この講座は、「商業」に関する基礎的な内容を学ぶので、他の商業科目を学習する上でとても大切な科目です。商業コース生徒としての自覚をもち、しっかり学習にのぞみましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「ビジネス基礎」 <副教材> 実教出版「ビジネス基礎ワークブック」 実教出版「全商珠算・電卓実務検定模擬問題集」 <実習費> 6000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	指導項目	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	商業の学習とビジネス	1. 商業を学ぶ重要性と学び方 2. ビジネスの役割 3. ビジネスの動向・課題	ワ 発	定 ワ 発	観
5	取引とビジネス計算	1. ビジネス計算の方法 (普通計算)	定 ワ	定	観
6		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【1学期中間考査】</div> ※全商電卓実務検定(普通計算)受験			
	ビジネスに対する心構え	1. 信頼関係の構築 2. コミュニケーションの基礎 3. 情報の入手と活用	定 ワ	定 発	観 提
7	経済と流通	1. 経済の基本概念 2. 流通の役割 3. 流通を支える活動	定 ワ	定 発	観 提
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【1学期末考査】</div>			
9	取引とビジネス計算	1. 売買取引の手順 2. 代金決済	定 ワ	定 ワ	観 提
10		3. ビジネス計算の方法 (ビジネス計算)			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【2学期中間考査】</div> ※全商電卓実務検定(ビジネス計算)受験			
11	企業活動	1. 企業の形態と組織 2. マーケティングの重要性と流れ 3. 資金調達	定 ワ	定 発	観 提
12					

		【2学期期末考査】			
1		4. 財務諸表の役割 5. 企業活動に対する税 6. 雇用	定 □	定 発	観 提
2	第8章 身近な地域のビジネス	1. 身近な地域の課題 2. 身近な地域のビジネスの動向 【学年末考査】	定 □	□ 発	観

評価方法

□: ワークシート・ノート 提: 提出物 定: 定期考査 小: 小テスト 発: 発表 観: 観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	ビジネス・コミュニケーション	2単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 ビジネス系列			
取得資格	全商ビジネスコミュニケーション検定			
学習のアドバイス	2年時のインターンシップや卒業後に関わってくる学習内容です。知識を得ることだけでなく、積極的に周りの人とコミュニケーションをとる演習に取り組むように意識しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「ビジネス・コミュニケーション」 <副教材> 実教出版「ビジネス・コミュニケーション 準拠問題集」 <実習費> 2000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	指導項目	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1編 ビジネスと コミュニケーション	第1章 企業の組織と人間関係 1. 企業の組織の意思決定 2. 業務の進行方法 3. 仕事に対する心がまえ 4. 人的ネットワーク	定 □	□	観 提
5	第2編 ビジネスマナー	第2章 応対に対するビジネスマナー 1. 挨拶 2. 身だしなみ・表情・身のこなし 3. 言葉遣い 4. 名刺交換と紹介 5. 訪問・来客の応対 6. 電話の応対 7. 席次のマナー 【1学期中間考査】	定 □	発	発 観
6		第3章 交際に関するビジネスマナー 1. 交際のマナー 2. 食事のマナー	定 小	発 観	発 観
7		第4章 接客に関するビジネスマナー 1. 接客 2. ホスピタリティの概念と重要性 【1学期期末考査】	定 小	発 □	発 観
9	第3編 ビジネスにおける思考 の方法とコミュニケーション	第5章 コミュニケーションの役割と 思考方法 1. コミュニケーションの役割と種類 2. ビジネスコミュニケーション の基本 3. ビジネスにおける思考方法 4. ディベート 【2学期中間考査】	定 □	発	観

10		第6章 ビジネスにおける コミュニケーション 1. ディスカッション 2. プレゼンテーション 3. 交渉 4. 苦情対応 5. 商品説明とワークショップ 6. ソーシャルメディアを活用した情報発信	ワ	発 観	観
11					
12		第7章 コミュニケーションと ビジネススキル 1. 会議 2. 文章におけるコミュニケーション 【2学期期末考査】	定 ワ	ワ	観 提
1	第4編 ビジネスと外国語	第9章 ビジネスの会話 1. 国内での接客 2. 入国 3. 商談と会議 4. 帰国	定 ワ	発	観 提
2		第10章 ビジネス文書と電子メール 1. ビジネスレター 2. 電子メールの利用 3. 貿易取引 4. ビジネス文章	定 ワ	発	観 提
3		第11章 ビジネスにおけるプレゼン テーション 1. プレゼンテーションの構成 2. プレゼンテーションの作成 【学年末考査】	定 発	発	観

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	マーケティング	2単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 ビジネス系列			
取得資格	全商商業経済検定2級マーケティング			
学習のアドバイス	授業をしっかりと聞き、ノートに学習内容をまとめておきましょう。身の回りの企業の活動について興味を持ち、積極的に学習に取り組みましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「マーケティング」 <副教材> 実教出版「マーケティング 準拠問題集」 <実習費> 2500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	マーケティングについて企業における事例など実際のマーケティングに関連付けて、ビジネスの様々な場面で役立つ知識と技能を身に付けている。	マーケティングに関する様々な知識・技能を活用し、課題を発見するとともに、企業活動が社会に与える影響を踏まえ、顧客理解・市場動向・マーケティング理論や事例から、科学的根拠に基づいて工夫し、よりよく解決する能力を身に付けている。	ビジネスを適切に展開する能力の向上を目指し、組織の一員として、他者との信頼関係の構築に積極的に取り組み、マーケティング理論を基にした企画を実施する能力の習得に取り組む態度を身に付けている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 マーケティングの概要	1 現代市場とマーケティング 1. 現代市場に創造的に適応するマーケティング 2 マーケティング環境の分析 1. SWOT分析 2. 内部・外部環境分析	ワ 定	発 ワ	観 提
5	第2章 消費者行動の理解	1 消費者の心理と行動の関係 1. 消費者の心理と購買意思決定 2 購買意思決定過程 1. 問題認識・情報探索 2. 代替品評価・商品選択 3 消費者行動に影響を与える要因 1. 動機付け・態度・関与 2・消費者間の影響	定	提	ワ 観
6		【1学期中間考査】			
7	第3章 市場調査	1 市場調査の概要 1. 市場調査の種類 2 市場調査の手順 3 仮説検証の手順 1. 予備・本調査・対象選定 4 実態調査の方法 1. 定性調査の種類 2. 定量調査の種類	ワ 定	発 ワ	観 提
		【1学期期末考査】			

9 10	第4章 STP	1 セグメンテーション 1. セグメンテーション変数 2. セグメンテーションの有効条件 2 ターゲティング 1. ターゲティングの意義 3 ポジショニング 1. ポジショニングマップ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【2学期中間考査】</div>	定	発 ワ	観
	第5章 製品製作	1 製品政策の概要 2 新製品開発 1. 製品ミックス 2. 新製品開発のプロセス 3 販売計画と生産計画 1. 販売計画の立案 2. 売上高の予測 4 製品政策の動向 1. ブランド・共同開発	ワ	発 ワ	観 提
	第6章 価格政策	1 価格政策の概要 2 価格の種類と決定方法 1. コスト・競争に基づく価格決定 2. 新製品導入時の価格決定 3 価格政策の動向 1. キャッシュレス決済の新展開 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【2学期期末考査】</div>	ワ 定	発 ワ	観 提
1 2	第7章 チャネル政策	1 チャネル政策の概要 2 チャネル政策の選択と管理 1. チャネルの長さと取引回数 2. チャネルの選択・管理 3 チャネル政策の動向 1. ICTの進展 2. インターネット通販の進展	ワ 定	発 ワ	観 提
	第8章 プロモーション政策	1 プロモーションの種類 1. 広告・広報 2. セールス・プロモーション 2 プロモーション政策の動向 1. メディアの変化による新展開 2. プロモーションに関する規制と倫理 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【学年末考査】</div>	定	提 発	提 観

評価方法

ワ : ワークシート・ノート
提 : 提出物
定 : 定期考査
小 : 小テスト
発 : 発表
観 : 観察
など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	観光ビジネス	2単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	授業をしっかりと聞き、ノートに学習内容をまとめておきましょう。実社会の観光業について興味を持ち、積極的に学習に取り組みましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「観光ビジネス」 <副教材> 実教出版「観光ビジネス 準拠問題集」 <実習費> 3000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	企業における事例など実際の観光ビジネスに関連付けて、観光ビジネスの実務に即した知識を体系的・系統的に理解するとともに、関連する技能を身に付けている。	観光ビジネスに関する様々な知識・技能を活用し、課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客理解・市場動向・データや成功事例から、科学的根拠に基づいて工夫し、よりよく解決する能力を身に付けている。	ビジネスを適切に展開する能力の向上を目指し、組織の一員として、観光資源の効果的な活用やマーケティング、観光振興策に関する企画を実施する能力の習得に取り組む態度を身に付けている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 観光を学ぶ意義と様々な効果	1 現代社会と観光 1. 観光を学ぶ意義 2. 観光がもたらす効果 3. 観光に関わる言葉 【1学期中間考査】	定 □	定 発	観 提
5		1 観光を構成する要素 1. 観光事業の意味としくみ 2. 観光資源の意味 3. 観光資源と観光対象 4. 観光対象の特徴 【1学期期末考査】	定 □	定 発	観 提
6	第2章 観光の仕組みと観光資源	1 観光産業の定義と種類 2 観光産業・観光ビジネスの特徴 【2学期中間考査】	定 □	定 発	観 提
7		1 観光政策と観光行政 2 国の観光政策と観光行政 3 各地方における観光政策と観光行政 【2学期期末考査】	定	定 発	観 提
9	第3章 観光産業の構成と特徴	1 マーケティングと観光への応用 2 観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」 3 観光マーケティング活動の実際 【学年末考査】	定 □	定 発	観 提
10		1 観光政策と観光行政 2 国の観光政策と観光行政 3 各地方における観光政策と観光行政 【2学期期末考査】	定	定 発	観 提
11	第4章 観光政策と観光行政	1 観光政策と観光行政 2 国の観光政策と観光行政 3 各地方における観光政策と観光行政 【2学期期末考査】	定	定 発	観 提
12		1 観光政策と観光行政 2 国の観光政策と観光行政 3 各地方における観光政策と観光行政 【2学期期末考査】	定	定 発	観 提
1	第5章 観光のマーケティング	1 マーケティングと観光への応用 2 観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」 3 観光マーケティング活動の実際 【学年末考査】	定 □	定 発	観 提
2		1 マーケティングと観光への応用 2 観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」 3 観光マーケティング活動の実際 【学年末考査】	定 □	定 発	観 提

評価方法

ワ: ワークシート・ノート 提: 提出物 定: 定期考査 小: 小テスト 発: 発表 観: 観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	簿記	4単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 ビジネス系列			
取得資格	全商簿記実務検定第3級			
学習のアドバイス	この講座は、商業科目の中心となるものであり、会計に関する基礎的な内容を学びます。科目の特性上、継続して学習に取り組むことはもちろん、家庭学習（復習）も常に必要とされます。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「新簿記」 <副教材> 実教出版「最新段階式簿記検定問題集 全商3級」 <実習費> 2500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に対応する力を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1編 簿記の基礎	1. 簿記の基礎 2. 資産・負債・純資産と貸借対照表 3. 収益・費用と損益計算表 4. 取引と勘定 5. 仕訳と転記	定 □	小	観
5		【1学期中間考査】			
6		6. 仕訳帳と総勘定元帳 7. 試算表 8. 精算表 9. 決算			
7	第2編 取引の記帳 I	1. 現金・預金などの取引 2. 商品売買の取引 3. 掛け取引	定 □	小	観 提
		【1学期期末考査】			
9	第3編 決算 I	4. 手形の取引 5. その他の債権・債務の取引 6. 固定資産の取引 7. 個人企業の資本金の取引 8. 販売費および一般管理費と税金の取引	定 小	ワ	観
10		【2学期中間考査】			
11		1. 決算整理（その1） 2. 8桁精算表 3. 帳簿決済と財務諸表の作成 I	定 □	小	観 提

12	第4編 会計帳簿と帳簿組織	1. 会計帳簿 2. 伝票の利用 3. 会計ソフトウェアの活用 【2学期期末考査】	定 □	定	観 提
1	第5編 取引の記帳Ⅱ	1. 特殊な手形の取引 2. 有価証券の取引 3. 本支店の取引	定 □	発	観 提
2	第6編 決算Ⅱ	1. 決算整理（その2）	定 □	小	観
3	第7編 株式会社の取引	1. 株式会社の取引と財務諸表 【学年末考査】	定 小	発	観

評価方法

□ : ワークシート・ノート 提 : 提出物 定 : 定期考査 小 : 小テスト 発 : 発表 観 : 観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	原価計算	4単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 ビジネス系列			
取得資格	全商簿記実務検定1級原価計算			
学習のアドバイス	授業をしっかりと聞き、分からなかったところはその授業中に解決するようにしましょう。学習の積み重ねが大切ですので、欠席に気をつけましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「原価計算」 <副教材> 実教出版「最新段階式 簿記検定問題集 全商1級原価計算 改訂版」 <実習費> 2000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	原価計算に関する会計処理を体系的・系統的に理解している。 原価計算に関する原価情報を科学的根拠に基づいて活用する技能を身に付けている。	原価計算に関する理論的な知識理解にとどまらず、原価計算の会計処理及び原価情報の活用の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見いだし、原価情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、原価計算に関する理論に基づいて工夫し、よりよく対応する力を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準を適切に活用し、適切な原価管理を行う能力の向上を目指して、自ら原価計算について学ぶ態度及び、組織の一員として適切な原価情報を提供する能力の習得に取り組もうととしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1編 原価計算の基礎	第1章 原価と原価計算 1. 製造業の簿記 2. 原価と原価計算	定 □	定 □	提 観
		第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費の計算 1. 材料費の分類 2. 材料消費高の計算	定 □	定 □	提 観
		第5章 労務費の計算 1. 労務費の分類 2. 賃金支払・消費高の計算	定 □	定 □	提 観
5		【1学期中間考査】			
6	第3編 原価の部門別計算と製品別計算	第6章 経費の計算 1. 経費の分類 2. 経費消費高の計算	定 □	定 □	提 観
		第7章 個別原価計算 1. 原価計算表の記入 2. 製造間接費の配布 3. 仕損品・作業くずの処理	定 □	定 発	提 観
7		【1学期期末考査】			
9		第8章 部門別個別原価計算 1. 部門別個別原価計算の手続き	定 □	定 小	提 観
		第9章 総合原価計算 1. 単純総合原価計算 2. 月末仕掛品原価の計算	定 □	定 小	提 観
10		【2学期中間考査】			

11		3. 等級別総合原価計算						
		4. 組別総合原価計算						
12		【2学期期末考査】						
		第10章 工程別総合原価計算	定	ワ	定	小	提	観
		1. 工程別総合原価計算の手続き						
		第11章 減損・仕損じなどの処理	定	ワ	定	ワ	提	観
1	第4編 製品の完成・販売と決算	第12節 製品の完成と販売	定	ワ	定	ワ	提	観
		1. 製品の完成・販売						
2	第5編 標準原価計算の基礎	第14章 標準原価計算(その1)	定	ワ	定	発	提	観
		1. 標準原価の計算						
	第6編 直接原価計算の基礎	第15章 標準原価計算(その2)	定	ワ	定	発	提	観
		1. 原価計算の計算と分析						
		第16章 直接原価計算(その1)	定	ワ	定	発	提	観
		1. 直接原価計算の手続き						
		第17章 直接原価計算(その2)	定	ワ	定	小	提	観
		1. CVP分析						
		【学年末考査】						

評価方法

ワ: ワークシート・ノート
提: 提出物
定: 定期考査
小: 小テスト
発: 発表
観: 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	情報処理	3単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 進学系列、ビジネス系列			
取得資格	日検情報処理技能検定（表計算）第3級、全商ビジネス文書実務検定（速度部門）第3級			
学習のアドバイス	この講座は、実習中心の授業なので積極的に取り組みましょう。欠席した場合は、休み時間や放課後を利用して授業内容を理解することに努めましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「最新情報処理」 <副教材> 実教出版「ビジネス文書実務検定模擬検定問題集」 日本情報処理検定協会「表計算模擬問題集」 <実習費> 5000円			

評価の観点 の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 企業活動と情報処理	第1節 情報処理の重要性 1. 情報の意義と役割 2. 情報システム 3. ビジネスとコンピュータ	定 □	発 □	観 □
		第2節 情報モラルと法規 1. 情報社会の価値とモラル 2. 情報社会と法規 3. 個人情報の保護 4. 知的財産の保護	定 発	定 □	観 □
		第3節 コミュニケーションと 情報デザイン 1. 情報デザインの重要性 2. 情報デザインの影響と効果	定 □	□ 発	観 提
5	第4章 ビジネス文書の作成	【1学期中間考査】			
		第1節 ビジネス文書 1. ビジネス文書の役割 2. ビジネス文書の構成	定 □	□ 発	観 □
		第2節 基本文書の作成 1. ワープロの操作と入力方法 2. ワープロを利用した文書の作成 3. 社外文書 4. 社内文書	定	発	観 提
6		第3節 応用文書の作成 1. 表計算を含んだ文書の作成 2. 表計算とグラフを含んだ文書の作成 3. 表現力に富んだ報告の作成 4. そのほかの機能 ※全商ビジネス文書実務検定受験	定 □	定 発	観 提
		【1学期期末考査】			
7					

9 10	第3章 情報の集計と分析	第1節 ビジネスと統計 1. 表計算ソフトウェアの活用例 2. 統計の基礎	ワ	ワ 発	観
		第2節 関数を利用した表の作成 1. データの入力と計算式の設定 2. 基本的な関数Ⅰ 3. 基本的な関数Ⅱ 4. 応用的な関数	定 ワ	定 発	観 提
		第3節 グラフの作成 1. 種類と概要 2. 基本的なグラフの作成 3. 応用的なグラフの作成と活用	ワ	定 発	観 提
		第4節 情報の整列・検索・抽出 1. データの整列 2. データの検索・抽出	発	定	観
		第5節 問題の発見と解決の方法 1. 問題の発見と問題解決のプロセス 2. モデル化とシミュレーション 3. アルゴリズムとプログラム 【2学期中間考査】	定 ワ	ワ 発	観
11	第2章 コンピュータシステムと 情報通信ネットワーク	第1節 コンピュータシステムの概要 1. ハードウェア 2. ソフトウェア	定 ワ	ワ 発	観 提
		第2節 情報通信ネットワークの 仕組みと構成 1. 情報通信ネットワークの役割 2. 情報通信ネットワークの構成 3. ネットワークのしくみ	ワ 発	定 ワ	観 提
12		第3節 インターネットの活用 1. Webページの検索 2. Webページの活用 3. 電子メールの活用 4. 添付ファイルの活用 【2学期期末考査】 ※情報処理検定を受験	定	ワ 発	観
1 2 3	第5章 プレゼンテーション	第1節 プレゼンテーションの技法 1. プレゼンテーションの意義 2. プレゼンテーションの基礎	ワ 発	定 発	観 提
		第2節 ビジネスにおける プレゼンテーション 1. プレゼンテーションの種類 2. プレゼンテーションソフトウェア の利用 3. プレゼンテーションスライド の作成 【学年末考査】	定 ワ	ワ 発	観

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
商業	ソフトウェア活用	3単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系列、ビジネス系列			
取得資格	日本情報処理協会情報処理検定（表計算）			
学習のアドバイス	授業をしっかりと聞き、分からなかったところはその授業中に解決するようにしましょう。特にコンピュータを使った実習でソフトを活用する技能をしっかりと身に付けましょう。			
教材 実習費等	<教材> 実教出版「ソフトウェア活用」 <補助教材> 日本情報処理検定協会「表計算模擬問題集」 <実習費> 5500円			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	・ソフトウェアの活用をはじめとした様々な知識。技術などを活用し、企業活動におけるソフトウェア活用に関する課題を発見するとともに、科学的な根拠に基づいて工夫し、最適な解を導き出し、よりよく解決する力を身に付けている。	・企業活動を改善する力の向上を目指して、自らソフトウェア活用に学ぶ態度及び、組織の一員として企業活動の改善に向け、積極的にソフトウェア活用に関する能力の習得に取り組もうとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 企業活動とソフトウェアの活用	第1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用 1. ネット通信ビジネスにおけるソフトウェアの活用	提 定	器 定	提 観
		第2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化 1. AIを活用した社会の変化 2. 材料消費高の計算	提 定	ワ 定	提 観
5	第2章 情報通信ネットワークの活用	第1節 情報通信ネットワークの導入と運用 1. ネットワーク構成と利用	提 定	ワ 定	提 観
		第2節 情報資産の保護 1. アクセス・サーバの管理 【1学期中間考査】	提 定	ワ 定	提 観
6	第3章 表計算ソフトウェアの活用	第2節 オペレーションズ・リサーチ 1. 情報の集計・分析 第3節 手続きの自動化 1. 手続きの記録と実行 2. マクロの登録	提 定	提 定	提 観
7	第4章 データベースソフトウェアの活用	【1学期期末考査】	提 定	器 定	提 観
9					

10		第1節 ビジネスとデータベース 1. データベースソフトウェアの機能と役割	ワ	定	提	定	提	観
		第2節 データベースの作成と操作 1. テーブルの作成とデータ入力 2. リレーションシップ・クエリの作成	提	定	発	定	提	観
		第4節 データベースの構造 1. 基本表と仮想表	提	定	小	定	提	観
		第5節 SQLの操作	ワ	定	小	定	提	観
11		【2学期中間考査】						
12	第5章 業務処理用ソフトウェアの活用	第1節 グループウェアの活用 1. グループウェアの実例と活用実習	提	定	提	定	提	観
		第2節 販売管理ソフトウェア活用 1. 販売管理ソフトウェアの実例と活用実習	提	定	提	定	提	観
		第3節 給与計算ソフトウェア活用 1. 給与計算ソフトウェアの実例と活用実習	提	定	提	定	提	観
		【2学期期末考査】						
1	第6章 情報システムの基礎	第1節 システム開発の基礎 1. ソフトウェア開発モデル 2. ソフトウェア開発手法 3. テストと保守	ワ	定	小	定	提	観
		第2節 アルゴリズムの基礎 1. アルゴリズムと流れ図 2. アルゴリズムの基本設計	ワ	定	小	定	提	観
2		第3節 情報システムの開発演習 1. 表計算ソフトウェアによる情報システム開発	ワ	定	小	定	提	観
		【学年末考査】						

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など